

【平成30年度 第1回 外国籍市民施策懇話会議事要旨】

日時 平成30年6月15日（金）18：30～20：10
場所 市役所 東館1階 会議室6
出席者 委員…阿曾、石田、高橋、田中、長山
関係職員…学校支援室 桑原室長補佐
事務局…馬場課長、加藤係長、酒井
傍聴者 なし

1. あいさつ

高橋会長より挨拶

2. 豊明市の外国人市民の動向について

(事務局)

- ・データを基に、外国人人口（全体、国籍別、行政区別）の推移及び市の特徴について説明。

(委員からの意見)

- ・市にベトナム語の通訳はいるか。
→いない。数値的に見ても、ベトナムの方たちへの対応が必要だと考えているが、市役所で
の手続きは、会社の方がまとめて行うので、窓口で不便だという声は聞こえてこない。
- ・日本語教室には、9割近くのベトナムの生徒が来ている。（日本語のレベルは、ベトナムで
6か月、日本で2ヶ月勉強したぐらい）。実習生として来日する人が多く、最近は、本人より
配偶者が日本語を全く話せなくて困るケースが見られる。
- ・豊明団地には、会社の寮となっているところがあり、ベトナムの方が住んでいるが、会社
の担当者が、入居の際の挨拶、清掃行事への参加など、一緒に動くことで、地域に溶け込
む努力をしている。この関係に行政も加われるといいのではないか。
- ・学校現場では、子どもは覚えるのが早いので何とかなっているが、保護者とのコミュニケ
ーションが課題となっている。（子どもを通訳としたり、スマホの翻訳機能を活用したりし
て対応している）
- ・ベトナム語の通訳については、人材の確保も課題。

3. 第1次豊明市多文化共生推進計画の実績について

(事務局)

- ・各課への調査を基に、第1次計画に対する昨年度の事業実績について説明。

(委員からの意見)

- ・通訳意見交換会について、今年度は開催する予定はあるか。
→開催する予定。（第2回の懇話会と合同で開催する予定）

4. 第2次豊明市多文化共生推進計画の評価について

(事務局)

- ・第2次計画の進捗管理を行っていく必要がある。各施策（主な事業）について、各課へ調査する予定。
- ・各施策の進捗を計るためには、どのような事業を行ったらよいか、また各課への調査結果について、懇話会にてご意見をいただきたい。

(委員からの意見)

- ・事業は、市で実施しているものと判断してよいのか。
→国際交流協会や他団体実施のものも含む。
- ・日本文化体験ツアー（日帰りツアー）の駐車場借用について、市の主催ではないので難しいとされたが、計画には市の施策として掲載されている。どのように考えたらよいか…
→駐車場については、全庁的に市主催の事業でないものは、貸与を見直している。新しい団体からの依頼が増え、ルール決めが必要となる。
- 他の団体はどのように対応されるのか、また情報提供してほしい。
- ・この計画を2025年まで使うのか。計画内のデータなどは毎年新しいものを提示してもらえるとよい。懇話会委員で計画の評価というのは難しい。
→使う。評価していただくというよりは、進捗状況や実績を出した際に、委員の方それぞれの立場でご意見をいただきたい。
- ・一番困っているのはどの分野か。
→現場がそれぞれ違うので、どの分野とは言えないが、地域には、間に入るようなリーダー的な人が必要だと感じる。
- 地域のことは、外国の方も巻き込んでやっていきたい。外国の方も言葉がわからないということで、一步引いているように感じる。お互いの努力や歩み寄りが大切である。
- ・外国の方は、お知らせなど細かいものは見ない。情報発信はとにかくシンプルにすること。
→できるだけ文章はなく、イラスト・記号を使用し、色彩も工夫する。

4. 懇話会の名称変更について

(事務局)

- ・懇話会の名称と、計画内の表現に齟齬がある状態となっている。ご意見をいただきたい。

(委員からの意見)

- ・市民協働課として、どの名称がよいとかはあるのか。
→計画名からも、「多文化共生」の言葉を使ったものがよいと思う。
- ・外国籍市民であれ、外国人市民であれ、その定義は難しいので、多文化共生と考え、全市民を含める考え方がよい。
- ・国籍自体も難しい。プロフィールは、国籍から国に変えて対応している。
- ・会の名称については、市民としてはそこまで考えないので、単純に誰もがわかりやすい名称がよい。
- ・日本語教育が必要な子ども、外国にルーツをもつ子ども、外国籍児童など、いろいろな対象があり複雑である。外国籍、外国人の括りに無理がある。

・すぐにということではないが、いずれは計画に合うように動いていく必要がある。

□ 次回開催日 平成30年10月26日（金）午後2時から

※ 通訳意見交換会と合同で開催